

清水議員のTPP請願の趣旨説明



米原市民報

日本共産党米原市議団
清水隆徳Tel52-1969
藤田正雄Tel55-1128
太田幸代Tel54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

日本の経済・医療・農業を破壊するTPPを許すな

TPP協定を国会で批准しないことを求める請願書が滋賀県農民組合連合会の湖北農民組合会長の北村富生氏から提出されました。産業建設常任委員会での審査では、不採択となりました。しかし臨時国会冒頭から、TPPについては多くの問題をかかえていることが明らかとなつていきます。共産党議員団は議会最終日の請願採択を目指します。また地域からTPP批准を許さない闘いを進めます。

今年の6月の通常国会で、価格も撤廃されるようなことになり、当然海外の業者といふのは、安い労働者を日本へ連れて来て仕事をさせれば、非常に安い価格で落札することができるといふことになり、日本の業者が落札できないような結果がでる危険性も出てきます。そういうことで、国際的な入札制度が導入されることによつて、日本の業者が締め出されてしまふ危険性がでてくるということも考えられます。

TPPは経済全体を壊す

この秋の臨時国会で政府はこれを批准したいようであり、TPPといふのは農業だけが被害をこうむるようになつていいますが、実際には日本の経済全体に影響してくることなんです。この米原市において、公共事業もこのTPPが批准されて発効されれば、6億以上の入札については、国際的な入札にしなければならぬ。当然TPPに参加してはくわけです。

日本の医療と保険制度を壊す

そうなりますと米原市は国際的な事であり、英語による仕様書を作成してですね、その入札に参加する業者に渡さなければならぬ。そういう仕事も出てきます。

TPPからの撤退を

農業についても、日本の農業は外国製の農産物に支配されるような危険性がありますし、そのことも考慮すれば、このTPPは絶対に批准してはならないと私は思います。国会の農林部会で決議がされております重要6品目どれひとつについても、この関税の撤廃は許してはならないという決議がされています。それが撤退されることを念願して、趣旨説明とします。

日本はこの入札制度の中には、たびたび談合による事件等も起こっております。Sの条項を使つてですね、ところが国際入札制度になりますと、こういうことは一切通用しない。最低制限医療機関が不利を被つた



雑感

臨時国会冒頭から、TPP交渉についての問題点が出ています。政府が行っている輸入米価格のバラクリや多数の協定書の誤訳など交渉にかかる重大問題が今後も噴出することが予想されます。安倍政権は多数に任せて批准を強行しようとしています。今後全国で批准阻止の運動が起こされます。湖北では「TPPを批准させない全国共同10・22湖北集会」が長浜市民交流センターで午後2時から開催されます。是非ご参加をお願いします。